

維持透析患者および保存期腎不全患者における niceritrol の血清リン低下作用の検討

第 43 回 日本透析医学会学術集会

佐々木敏作・栗岡康子・山田明子¹ / 久保典夫² (大阪掖済会病院 内科¹ / 栄養部²)

【目的】維持透析(HD)患者および保存期腎不全(CRF)患者における高リン(P)血症に対する niceritrol の有効性と安全性について検討を加えた。

【方法】高 P 血症を有する HD 患者 9 名と CRF 患者 2 名に対し、niceritrol 750mg / 日を投与し、投与後 8 週間まで Ca、P、血中脂質等を測定した。

【結果】P は投与前 6.74 ± 1.34 mg/dl に対し、投与 2 週間後 4.86 ± 2.63 mg/dl、8 週間後 4.51 ± 1.41 mg/dl と有意に低下した。P の低下効果は HD 患者のみならず CRF 患者においても認められ、また炭酸 Ca 剤併用の有無に関係はなかった。4 名に消化器症状が認められ、niceritrol の減量や中止を要した。さらに HD 患者のうち 4 名に Hb の低下が見られ、1 名は血小板低下も合併した。

【結論】niceritrol は HD および CRF 患者の高 P 血症を是正するが、その副作用のため長期投与に際しては注意を要する。